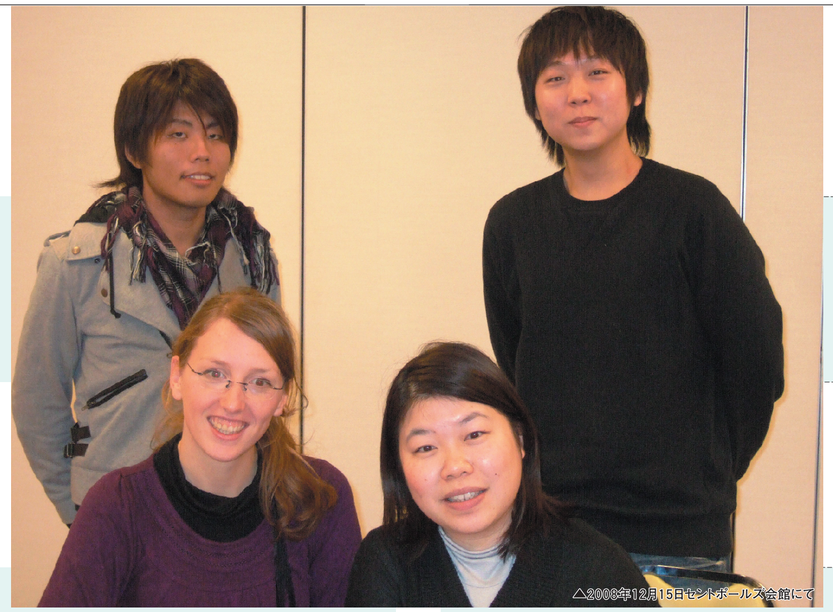
特集 留学生座談会

ここ最近、立教大学のキャンパスの中では、多くの外国人留学生の姿を目にするようになりました。現在は458名の外国人留学生が各国から本学に留学しています（下表参照）。今号では、そんな外国人留学生たちが、日本の文化に触れては驚いたり感激したりという日々を語ります。今回お集まりいただいたのは昨年9月より日本に留学している特別外国人学生の4名です。

※立教大学で学ぶ外国人留学生は、正規外国人留学生と特別外国人学生の2パターンに分かれます。日本人学生と同様に学位取得を目的として正規課程で学ぶ学生を正規外国人留学生、協定校や政府機関等を通しての学位の取得を目的としない短期留学生を特別外国人学生と呼びます。


△2008年12月15日セントポールズ会館にて

―留学のきっかけは？

陳　私は大学時代から日本語学科で日本語を学び始めました。在学時にも交換留学生として日本に留学したことがあります。その後、日本の会社を取引先にもつ会社で5年勤めました。ただ、仕事で使用する日本語が限られていたので、自分の語学力を試したくて再度留学しました。

ペリー　カナダでは高校生のころから授業で日本語を勉強していました。ただ、周りに日本人があまりおらず、週に1回の授業のときしか話す機会がありませんでした。立教に留学したのはウォータールー大学に留学していた日本人の友だちの影響です。立教は綺麗な女性が多いと聞きました（笑）。ゴフクロやサザン（サザンオールスターズ）、ミスチル（ミスターチルドレン）などの日本の音楽を聴くことも好きです。

甘　僕は、日本のドラマに影響を受けました。台湾では100を超えるテレビ局があるのですが、そのなかには24時間日本のテレビ番組を放送している局もあるのです。テレビの字幕にある漢字とカタカナがとても親しみやすく覚えやすかったのです。

ルディア　高校のときにテレビのドキュメンタリーをみて日本に興味を持ったのがきっかけです。うまく説明ができないのですが、それを見て心の奥からふつふつと「日本に行きたい」と思う感情がうまれました。畳やお茶など和風のものが大好きです。

―立教生を見てどう思いますか？

ルディア　お洒落ですね。

全員　そうそう、みんなとてもお洒落。まずそれが第一印象ですよね。

陳　でもあまり勉強熱心には見えないですね。

ルディア　講義中に寝ている人やお化粧している人もいてびっくりしました。そのあたりはドイツと違いますね。

ペリー　カナダでは大学に入学するのは簡単だけど卒業するのは大変です。大学に入学したものの、卒業できない、留年するという人もたくさんいますから。日本は大学に入学すると自体が難しく、いったん大学に入ってしまったら、「やった！」という達成感があるのか、あまり勉強しなくなる感じがしますね。大学に入学するまでは相当勉強していたのだと思うのですが。

ルディア　ドイツも大学に入学するのはさほど難しいことではありませんが、入学後はみんな勉強熱心ですよ。また、論文の分量などはドイツのほうがずっと多いですね。

陳　台湾は入学や卒業の難しさは大学によってかなりばらつきがありますが、日本とドイツ・カナダの中間かもしれませんね。台湾も今、日本と同様、少子化が問題になっており、大学進学する人の人数に対して、大学の数が非常に多いのです。

甘　台湾の大学進学率は99%といわれるくらいとても高いのです。

―厳しいコメントですね…立教での課外活動は何がしていますか？

ペリー　私はIFLEという国際交流サークルと放送研究会に入っています。放送研究会ではアナウンスの練習もしているのですよ。留学生は私だけなのですが、コミュニケーションに興味があって入部しました。

ルディア　私は先ほども話したとおり、日本の伝統的な「和」のものが好きなので、立教大学では陶芸サークルに入っています。ペリーさんと同じく、部員の中でも留学生は私一人だけです。たくさん勉強したあとは頭が疲れるのですが、自分で土を練って器を作っていると、頭の中がすっきりします。すでに6つ作品を作りました。自分で作った器でお茶を飲むのは最高ですよ。玉露が一番美味しいけど高いからいつもは煎茶や玄米茶です（笑）。作品はまだ小さいものが多いので、そのうち抹茶も飲めるくらいの大きな器を作りたいと思っています。それに陶芸サークルに行くと必ず誰か友達に会えるから日本語の練習をする場としてもよいですね。

―将来はどのように考えていますか？

ペリー　私は日本での就職を考えています。広告会社やPR会社に興味があるので、この留学を終えて、カナダの大学を卒業したらまた日本に来て就職したいと思っています。そのためには日本語学力を磨かないと…。アルバイトなどでいろいろな人と会話する経験も重要かな、と思っています。実は今日もこれからアルバイトの面接なのです（笑）。

ルディア　私はドイツに戻ってドイツの大学の卒論に取り組みます。その後のことはまだはっきりとはしていませんが、私は今、付き合っている人がドイツに住んでいる日本の方なのです。だから日本語を勉強してそばにいたいな、と。ドイツと有機コスメティクスの企業に興味がありますね。

甘　私も台湾に戻ったあとも日本語の勉強を続けて、将来的には日本関連企業に勤めたいと思っています。

陳　日本と台湾のビジネスの関係は強いですからね。日本語を使う会社はたくさんありますよ。

ペリー・ウォンさん

―日本の生活に関して驚いたことは？

ペリー　5年前に初めて日本を訪れたとき、たばこの自動販売機が道端に置かれているのには驚きましたね。「お金を入れれば誰でも買えるのか」という衝撃がありました。今はタスポがありますけれども。

それからなんといっても、朝の満員電車ですね。プラットホームで、電車に乗り切れない乗客を駅員さんが3人で押しているのを見て友人と大笑いしました。そんな光景カナダにはありませんよ。

甘　私も満員電車に乗れずに見送ったことが何度もあります。でも、私は2週間で自分なりの乗りかたのコツをつかみましたよ。足からではなく、体から乗り込むのです（笑）。

ルディア　私は今でもあの満員電車には慣れません…。時々満員電車のなかで「どうして私はここにいるのだろう」って思いますよ。

陳　日本は四季がとても綺麗ですよね。紅葉にしても赤、黄色、橙などいろいろな色があって素敵です。休みのときには日本をいろいろと旅行するようにしています。

ペリー　後はファッションですね。日本で売っている衣服は本当にお洒落なものが多いです。たくさん買ってカナダの友達に自慢していますよ。

―立教大学に願うことは？

甘　日本語の練習相手がもっと欲しいですね。日本語と中国語の言語交換のプログラムを期待します。中国語を学ぶ日本人との交流をもっともっとしたいです。

ルディア　いろいろと大学が外国人留学生をサポートしてくれて感謝しています。私は、立教の卒業生のレディスクラブの方に日本語レッスンボランティアをしていただいています。立教大学に留学していることはとても有意義でいい経験になっています。でももっと日本語の授業を受けたいです。

ペリー　もっとウォータールー大学の留学生をたくさん呼んでほしいです。立教からもカナダにどんどん留学してほしいです。

陳　台湾にも来て下さいね。まだ、立教に来て半年ですけれども立教大学での留学は人生のとても良い思い出になりそうです。

―本日はお忙しい授業の合間をぬって、お集まりいただきありがとうございました。

陳 銹綾さん

ルディア・シャウスさん

甘 凱綸さん

出席者紹介

陳 銹綾さん
（チン・シュウリョウ）
台湾出身
長庚大学大学院在学中
立教大学院経営学研究科

甘 凱綸さん
（カン・ガイリン）
台湾出身
長庚大学大学院在学中
立教大学院経営学研究科

ペリー・ウォンさん
カナダ出身
ウォータールー大学在学中
立教大学経営学部国際経営学科

ルディア・シャウスさん
ドイツ出身
フンボルト大学大学院在学中
立教大学院経営学研究科

インタビュアー感想

会報委員
町田香子（55法）

1つのテーマを聞くと皆がいっせいにしゃべって笑いが起こり、こちらまでクラスメートのような楽しい錯覚に陥りました。

留学生インタビュー

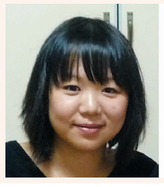
金 賢基さん
（キム・ヒョンキ）
（コミュニティ福祉学部福祉学科2年）
新座キャンパス韓国人留学生会会長

日本に留学したのは日本人の祖母の影響です。韓国の大学では社会体育科というところでリハビリのためのスポーツを学んでいました。その後、軍隊に入ったのですが、その際に知り合った方からも「広い世界を見ると良い」と留学を勧められました。日本語は祖母から学んだほかにも、韓国の大学図書館に届く日本の新聞を読んで勉強しました。立教大学を留学先に選んだのは福祉の勉強ができるからです。

現在は野球サークルのほかに新座キャンパスの韓国人留学生会の会長も務めています。韓国の大学と比べると日本の大学のほうがクラブ活動は活発ですね。

留学生会の活動としては、入学時期のオリエンテーションや歓迎会をはじめ、関東の大学の留学生会との交流などもあります。韓国人留学生会は池袋キャンパスと新座キャンパスそれぞれにあるのですが、今年度は池袋キャンパスの韓国人留学生会会長と相談し、歓迎会に韓国立教会の方を招いて、現役学生と卒業生の交流の輪を深めました。その後も日本で活躍している卒業生はもちろんのこと、韓国で活躍している卒業生の方も出張などで日本にいらした際には会食しながら、日本での生活や韓国の仕事の話を伺うなど、機会があるたびに大変お世話になっています。立教は他の大学に比べて留学生一人ひとりへのサポートが充実していると思います。これからは日本での就職も視野に入れながら勉強を続けていきたいと思います。

留学生インタビュー


咎 菁菁さん
（ザン・ジンジン）
（観光学部観光学科2年）
新座キャンパス中国人留学生会会長

もともとも「海外をみたい」という意識が強く、中国の短大に在籍中もケニアに一年半留学した経験があります。帰国後、ホテルに就職し、観光業の面白さを知り、日本に従兄弟が住んでいるという縁もあり、日本への留学を考えたのですが、当初は日本で観光について勉強できる専門学校への留学を考えていました。

しかし、周りから「観光を学ぶのであれば立教大学がよい、立教には観光分野の日本一の先生が揃っている。」という話を聞いて、立教大学に決めました。授業では様々なフィールドワークもありますし、今まで知らなかった発見、視点があってとても面白いです。また、全学共通カリキュラムなど沢山の選択肢のなかから選べるのでとても充実しています。

現在は新座キャンパスの中国人留学生会の会長を務めています。IVYFesta（新座キャンパスの学園祭）では中国人留学生会で水餃子をつくり、たくさんの方が列を作って買って下さいました。国際交流のサークルと料理会をしたこともあります。

日本の学生はとても明るく積極的に交流する人とそうでない人が分かれているような気がします。せっかくですからいろいろな人と接したほうが得ですよ（笑）。

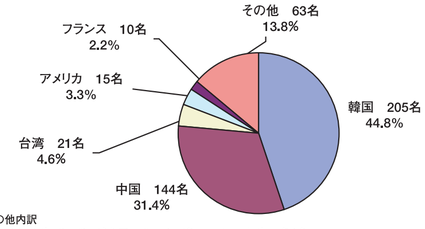
私の出身地、四川は中国のなかでも一番世界遺産が多い省です。人も優しいしとても住みやすい町。多くの方に四川を訪れて欲しいので、そのような架け橋になれる仕事につきたいと思っています。

立教大学校友会には外国人留学生に対して、「立教大学外国人留学生奨学金」が、また、校友の組織、レディスクラブには「校友会レディスクラブ国際交流奨学金」、東京セントポール・ライオンズクラブには「東京セントポール・ライオンズクラブ奨学金」が設けられております。更に、奨学金のみならず、レディスクラブ主催の留学生向け昼食会や文化体験、東京セントポール・ライオンズクラブ主催の日帰りバスツアーなど校友の方々のご協力を得たプログラムが実施されております。

留学生所属別内訳（2008年10月20日現在）

学部・研究科	正規課程学生		特別外国人学生		小計		合計
	学部	大学院	学部	大学院	学部	大学院	
文	49	18	4	12	53	30	83
経済	19	7	1	2	20	9	29
理	5	1	0	0	5	1	6
社会	35	5	8	0	43	5	48
法	15	9	0	1	15	10	25
観光	52	25	7	6	59	31	90
コミュニティ福祉	18	7	0	0	18	7	25
経営	25	16	40	6	65	22	87
現代心理	8	3	0	2	8	5	13
ビジネスデザイン	0	31	0	0	0	31	31
21世紀社会デザイン	0	2	0	0	0	2	2
異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	2	12	3	2	5	14	19
小 計	228	136	63	31	291	167	458
合 計	364		94		458		458

国・地域別内訳（2008年10月20日現在）



その他内訳
タイ、シンガポール、インドネシア、ベトナム、デンマーク、カナダ・・・各4名
フィリピン、ネパール、オランダ・・・各3名
マレーシア、フィンランド、スウェーデン、イギリス、ベルギー、ドイツ、スペイン、ポーランド・・・各2名
ミャンマー、モンゴル、ラオス、スリランカ、トルコ、モロッコ、ノルウェー、イタリア、スイス、ロシア、ウズベキスタン、ペラルーシ、コロンビア、オーストラリア・・・各1名
以上　36の国・地域より合計458名